
そこで兵士は何を想う

コーヒー(アリアリで)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

そこで兵士は何を想う

【NZコード】

NZ8612N

【作者名】

コーヒー（アリアアリで）

【あらすじ】

主人公高原 風は高校卒業後、軍に入隊することを決心する
そこで様々な仲間に出会い、様々な困難にあたる
その状況で彼は何を見、何を考え、何を想うのか
今、一人の少年が兵士になる

兵士の一歩

百年兵を養うはただ平和を守るためである　日本五十六

「今の時代、戦争なんてやつたってだれも得なんかしない、だから戦争なんか起きない　軍隊に入つてどうするんだい？」

周りの人間はそう口をそろえて言つ

俺もそう思う

だが、自分も含めてみんなは見ているテレビ画面でパソコン画面で今もどこかで戦争は起きている現実を

自分が安全な立場だから、そのような事が言えるのだと思つ

いや、自分の国がその立場になつたらどうなるのかとこう事をほどんど考へてない

映画や漫画の見すぎだよ　汚くて臭くてきつい仕事おまえが続けられると思つか？

そう言われた

俺の名前はたかはら 高原なぎ 凪 男 18歳

ただいま大和軍陸軍東部教育大隊第一区隊に所属中の若き新兵だ

軍に入隊して早半年、色々な事があった

区隊の顔でありシンボルでもある区隊旗の持ち手である旗手になつた時は訓練演習場に旗を忘れてみんなで腕立て伏せをして区隊全員にお詫びにジュークを持って謝りにも行つた

区隊の同期の長を務める学生長になつた時は指揮がとれず教官にドロップキックを浴びせられたりもした

ほかの区隊で脱走兵が出て一夜寝ずに捜索に出たこともあった

しかし、悪い事ばかりではない、訓練終了後に夕日を見ながら同期

みんなでコーラを飲み、その日あつた事や

自分のミスや相手のミスを笑いあつたり励ましあいながら語った光景は今も浮かぶし

大隊総出で行われる競泳大会では我が区隊を優勝に導いた事もあつた（その後教官から大隊長が「彼は海軍と間違えて入隊手続きをしたんじゃないのか？」

と言つていたということを聞いた・・・あんまりだろ・・・その後は泥水をする勢いで訓練に励み、前期教育の三ヶ月が終わる頃には兵士としての自覚が芽生えつつあった

後期教育前にはこれから自分が所属したい兵科を聞かれ真っ先に「普通科に行きたいです！！」

と言つたが教官からは

「お前は通信や衛生に適正もあるし、性格も向いてていいぞ」と言われ、教官にすがりつき、土下座もした（のちに教官中に知れ渡り、後期教育中も土下座一等兵と呼ばれ続けた）なんとか普通科に決まり、三ヶ月ももつすぐ終え、明日には所属部隊も告げられる事になつた

同期であるトマト（本名磐田 秀樹 同い年で仲も良かつた あだ名がトマトなのは運動するとすぐに顔が真っ赤になる事から）にどこに行きたいかと話していた

「おれはやっぱ東京だな、都会だし遊ぶのにもつてこいだろ？」とお前の頭の中は遊ぶ事しか考えてないのかよ・・この遊び入め！と思う返答があり

「屁はどこ行きたいんだ？やっぱ精鋭部隊の空挺か？」

「バカ！おれの成績で空挺に行けるわけないだろ。大体行つても三日で転属決定だ」

空挺部隊、陸軍の中で最も精鋭と言われればどこの部隊かと聞かれれば全員が「空挺部隊」と言われる部隊だ
おれはそんなとこ行く気もないし、ましてや軽度の高所恐怖症の才マケ付き、教官からも

「お前が空挺になることはまずないな！」

と半分期待していた反面ホツとしていた

「やつぱりぼくは大和海側の部隊に行きたいな 今はラシーラやシ

ーナ・チヨソンの政治が不安定だしな」

「おっ！やつぱり凪殿はわかつていますな！私もそれが気がかりでしてね…やはり、所属部隊は…」

「つるせこそーおまえら、明日には新しい部隊に配属されるんだ！準備が出来て暇なら着隊時の挨拶でも考えたらどうだ？」

話に入ってきたメガネでテンションの高い男 田中 雅夫こと通称ネズミ（本名 たなか まさお 21歳大卒）だ

あだ名がネズミなのは戦闘訓練の際、匍匐がネズミのように俊敏で光るメガネが暗闇の中のネズミのようだったからだ（出っ歯だからではない）

そして、キレた男 通称：オロチ 本名武富 龍（たけみや りゆう 18歳 あだ名の通り蛇のように囁つきが悪く見た目は不良だが中身は真面目君 成績優秀）

「ああ、悪い悪い…」

「オラアー！お前達消灯だ！電気消せ！！！」

「うそ、まだ5分前じゃないかよ！早すぎなんだよーあの教官！」

そうして、強制的に電気を消されベッドの中に入る事を余儀なくされたのだった

消灯後におしゃべりなど許されるはずもなく、一人考へることになつた

「配属先か…変な部隊に飛ばされなきゃいいけど…」

そうしてネズミが布団に潜つてPSPをしてオロチにPSPを没収され、ゲンコツを食らわれるのを尻目に 明日への期待と不安を胸に凪は眠るのであつた

続く

兵士の一歩（後書き）

始めましてみなさま ハーヒと言います 初執筆なので至らぬ点があるのはご了承下さい

まず最初に軍人の名言を入れるのは自分の趣味です そこはお許し下さい

世界観的には現実世界の情勢と同じ感じだと思ってください

国名は変更されますが、共通する形で書いてこうと思います

今回は登場人物の紹介のみで世界観も何もないですが、これからがんばっていこうと思います

ご意見・ご感想お待ちしています

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8612z/>

そこで兵士は何を想う

2011年12月27日01時53分発行